

逃げ水 I

草の葉末の間から
影のやうに
馬ものぞいて
魅入られたのだ

魔法の水なのだ
馬も追つて
倒れかかった
大きい目をあけたままだつた

もの音ひとつしない原に
向ふ側に
いつもある黒い逃げ水

白い光線の降る中で
夕方のやつて来るまでに
死に絶えたものもある